



## クローンのスプリット SnapManager Oracle

NetApp  
November 04, 2025

# 目次

クローンのスプリット .....	1
クローンスプリットの見積もりを表示します .....	1
プライマリストレージまたはセカンダリストレージ上のクローンをスプリットする .....	2
クローンスプリットプロセスのステータスを表示します .....	3
クローンスプリットプロセスの結果を表示します .....	3
クローンスプリット処理を停止しています .....	3
プロファイルの削除 .....	3
プロファイルの削除 .....	4
リポジトリデータベースからクローンスプリット処理サイクルを削除します .....	4

# クローンのスプリット

SnapManager では、FlexClone テクノロジーを使用して作成された既存のクローンをスプリットして管理できます。FlexClone テクノロジーでは、クローンと元のデータベースは同じ物理データブロックを共有します。

クローンスプリット処理を実行する前に、スプリットされるクローンの推定サイズと、アグリゲートで使用可能なスペースを確認しておくことができます。

クローンスプリット処理が成功すると、SnapManager によって新しいプロファイルが生成されます。SnapManager が新しいプロファイルの作成に失敗した場合は、手動で新しいプロファイルを作成できます。新しいプロファイルを使用すると、データベースのバックアップの作成、データのリストア、およびクローンの作成を行うことができます。クローンスプリット処理が成功した場合は、新しいプロファイルが作成されたかどうかに関係なく、クローン関連のメタデータがリポジトリデータベースから削除されます。

クローンのスプリットに関連して次のタスクを実行できます。

- クローンスプリットの見積もりを表示します。
- プライマリストレージ上のクローンをスプリットします。
- セカンダリストレージ上のクローンをスプリットします。
- クローンスプリット処理のステータスを表示します。
- クローンスプリット処理を停止します。
- プロファイルと基盤となるストレージを破棄します。
- スプリット・クローン用に作成されたプロファイルを削除します。

クローンを親ボリュームからスプリットすると、そのクローンボリュームに関連付けられている Snapshot コピーは削除されます。クローンスプリット処理の前にクローンデータベースに対して作成されたバックアップは使用できません。これらのバックアップの Snapshot コピーが削除され、バックアップはリポジトリ内の古いエントリのままになるためです。

## クローンスプリットの見積もりを表示します

クローンスプリットの見積もりから、アグリゲートの使用可能な合計空きスペース、クローンと元のデータベースで共有しているスペース、およびクローン専用のスペースを確認できます。また、クローンが作成された日時と、クローンの作成日時も表示できます。この概算値に基づいて、クローンをスプリットするかどうかを決定します。

クローンスプリットの見積もりを表示するには、元のクローンのプロファイル名、およびクローン処理のラベルまたは GUID を入力する必要があります。クローンが別のホストにある場合は、ホスト名を指定できます。

1. クローンスプリットの推定値を表示するには、次のコマンドを入力します。`mo clone split -estimate -profile [-hoshostname] [-labelclone -label]-idclone -id] [-quiet | -verbose`

次に、クローンスプリットストレージの推定値を計算するコマンドの例を示します。

```
smo clone split-estimate
-profile p1 -label clone_test_label
```

プライマリストレージまたはセカンダリストレージ上のクローンをスプリットする

clone split コマンドを使用すると、クローンをスプリットできます。クローンスプリットが完了すると、クローンメタデータはリポジトリデータベースから削除され、クローンに関連付けられているバックアップは削除または解放できます。

スプリット処理の成功後に作成された新しいプロファイルを使用して、スプリットクローンが管理されます。新しいプロファイルは、SnapManager 内の他の既存のプロファイルと同様に作成されます。このプロファイルを使用して、バックアップ、リストア、およびクローニングの処理を実行できます。

また、新しいプロファイルに E メール通知を設定することもできます。これにより、データベース管理者に、プロファイルを使用して実行されたデータベース処理のステータスを通知できます。

SnapManager でスプリット処理がサポートされるのは、FlexClone で実行した場合のみです。

スプリット処理が失敗した場合は、エラーの理由を示す適切なエラーメッセージが表示されます。複数の処理のステータスは、処理ログにも表示されます。例：

```
--[ INFO] The following operations were completed:
Clone Split : Success
Profile Create : Failed
Clone Detach : Success
```

クローンスプリット処理の成功または失敗後にダンプファイルを収集することもできます。

clone split コマンドを入力したあとに、クローンスプリット処理が開始されるまで SnapManager サーバを停止しないでください。

SnapManager アカウント（osaccount および osgroup）に値を指定しなくても、プロフィールが生成されます。

- [illegible]

## クローンスプリットプロセスのステータスを表示します

開始したスプリットプロセスの進行状況を表示できます。

1. クローンスプリット処理の進捗状況を表示するには、次のコマンドを入力します。`mo clone split-status-profile [-hoshostname] [-labelsplit-label] [-idsplit-id] [-quiet] [-verbose]

```
smo clone split-status -profile p1 -id 8abc01ec0e78f3e2010e78f3fdd00001
```

## クローンスプリットプロセスの結果を表示します

開始したクローンスプリットプロセスの結果を表示できます。

1. クローンスプリット処理の結果を表示するには、次のコマンドを入力します。`mo clone split -result -profile profile [-hoshosthostname] [-labelsplit-label] [-idsplit-id] [-quiet] [-verbose]

```
smo clone split-result -profile p1 -id 8abc01ec0e78f3e2010e78f3fdd00001
```

## クローンスプリット処理を停止しています

実行中のクローンスプリットプロセスを停止できます。

スプリットプロセスを停止した後で再開することはできません。

1. クローンスプリット処理を停止するには、次のコマンドを入力します。「mo clone split -stop-profile profile [-hoshosthostname] [-labelsplit-label] [-idsplit-id]」 [-quiet] [-verbose]

```
smo clone split-stop -profile p1 -id 8abc01ec0e78f3e2010e78f3fdd00001
```

## プロファイルの削除

プロファイルは、他の処理で現在使用されている成功したバックアップが含まれていないかぎり削除できます。解放または削除されたバックアップを含むプロファイルを削除できます。

1. 次のコマンドを入力します。`mo profile delete -profile profile [-quiet] [-verbose]

クローンスプリット用に作成された新しいプロファイルを削除できます。プロファイルの削除中にを削除しても、SnapManager のコマンドラインインターフェイスにプロファイルを削除しようとすると、あとで破棄できないことを示す警告メッセージが表示されます。

```
smo profile delete -profile AUTO-REVEN
```

## プロファイルの削除

SnapManager を使用すると、スプリットクローン（データベース）に関連付けられたプロファイルを、基盤となるストレージとともに削除できます。プロファイルを削除する前に、関連付けられたバックアップとクローンを削除する必要があります。

1. スプリット・クローン操作およびスプリット・クローン・データベースを使用して作成したプロファイルを削除するには、次のコマンドを入力します。`mo profile destroy -profile profileprofile[-hoshostname] [-quiet | -verbose`

```
smo profile destroy -profile AUTO-REVEN
```

## リポジトリデータベースからクローンスプリット処理サイクルを削除します

リポジトリデータベースから、クローンスプリット処理サイクルエントリを削除できます。

1. リポジトリデータベースからクローンスプリット処理サイクルエントリを削除するには、次のコマンドを入力します。`smo clone split -delete -profile profile [-hoshosthostname] [-labelsplit -label]-idsplit-id] [-quiet | -verbose`

```
smo clone split-delete -profile p1 -id 8abc01ec0e78f3e2010e78f3fdd00001
```

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。